

2025年11月17日

積水化成品工業株式会社（本社：大阪市北区西天満 2-4-4 社長：古林育将）は、ポリ乳酸（PLA）発泡シート「RETONA FOAM BIO HSグレード」の食品容器用途への展開を開始しました。

【日本初の産官学連携プロジェクトに容器提供】 「RETONA FOAM BIO HSグレード」食品容器用途への展開を開始

－ 環境配慮型素材の社会実装と循環型社会の実現に向けて －

「RETONA FOAM BIO」は、「Return to Nature（自然に還る）」という意味が込められた、資源循環を前提とする環境配慮型素材です。その中でもHSグレードはPLA由来の生分解性発泡シートで、堆肥化やバイオガス化によるエネルギー利用などを行うことが可能です。製品の使用後に回収してバイオガス化などの2次利用を行うというコンセプトに賛同いただけるユーザー様とパートナーシップを結び、資源循環ループの構築を行っています。

この度、積水化成品は、大阪市・大阪公立大学・大阪ガス株式会社を中心となって進める、日本初の産官学連携によるバイオガス製造実証プロジェクトにおいて、「RETONA FOAM BIO HSグレード」製弁当容器の素材提供を行いました。

本プロジェクトは、2025年11月より大阪公立大学森之宮キャンパスで使用済み容器を回収、大阪ガスおよび中浜下水処理場にて分解の上、バイオガス化することで、循環型社会の実現に貢献することを目的としています。なお、本プロジェクトの容器においては、株式会社高速・赤松化成工業株式会社との連携により、製造・供給体制を構築しました。

プロジェクトの概要

- 対象製品 : 「RETONA FOAM BIO HSグレード」製弁当容器
- 販売場所 : 大阪公立大学 森之宮キャンパス 学生食堂
- 回収・再資源化 : 使用済み容器を回収し、乳酸に分解後、バイオガス化
- 容器提供期間 : 2025年11月4日（火）～12月22日（月）

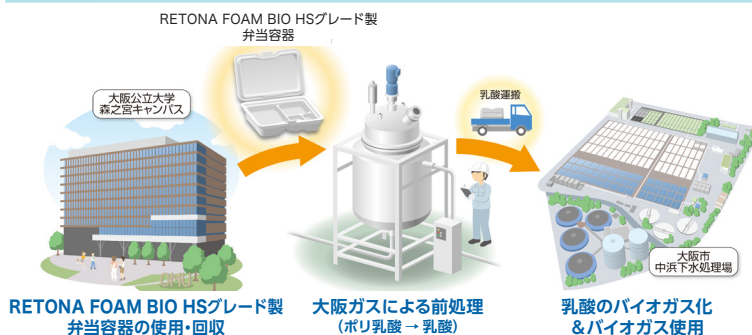
環境への貢献（大阪ガス ニュースリリースより引用）

- バイオガス生成量 : 60m³（一般家庭約30戸の1日分の都市ガス使用量相当）
- CO₂削減効果 : 約340kg
- 石油系プラスチック削減量 : 約60kg



RETONA FOAM BIO HSグレード製弁当容器

プロジェクトイメージ（資料提供:大阪ガス）



今後も、当社は環境に配慮した素材の開発と社会実装を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

RETONA FOAM BIO（生分解性発泡体）の詳細はこちら

URL : http://www.sekisuikasei.com/jp/products/materials/retona_foam_bio/

以上